

学校だより 「花里の子」

令和8年度 第10号（令和8年8月28日）

伊丹市立花里小学校長 小木曾 笑子



笑顔いっぱい2学期にしよう

「聴く力」を育み、友だちの輪を広げよう!!

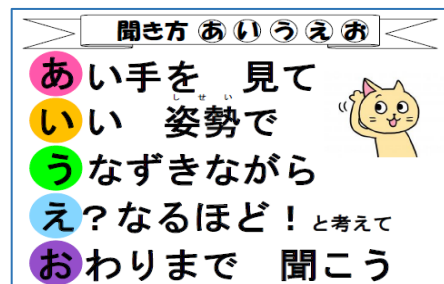
40日間の夏休みを終え、子どもたちが学校に帰ってきました。今年は7月下旬頃から大変暑い日が続き、運動場開放ができませんでした。学校閉庁日の頃には暑さが少し和らぎましたが、ここにきて再び厳しい暑さが戻っています。熱中症対策を十分に講じながら、学校教育活動を再開していきたいと思います。

1学期途中に2人の友だちが転校してきました。2学期からさらに1人増え、全校児童451人でのスタートとなりました。

始業式では、「学校がもっと好きになる絵本シリーズ」から『3かいなかしたるか』（作：くすのきしげのり、絵：石井聖岳、東洋館出版社）を紹介しました。この絵本は、苦手な相手や嫌いだと感じる相手とどのように向き合うのか、いがみ合うのではなく、笑い合える関係へと変わるきっかけを描いた作品です。

行事の多い2学期は、これまであまり関わることのなかった友だちや異なる学年の子どもたちと一緒に活動する機会も増えることでしょう。中には、「苦手だな」と感じる相手と関わる場面もあるかもしれません。そんなときこそ、相手とのよりよい関わり方について前向きに考えてほしいと思います。

2学期は、「時間を守る」ことに加えて、「きく」ことにも意識して取り組んでほしいと考えています。本校では、教室に「聞き方 あいうえお」を掲示し、「聞く力」を育てています。「聞く」ことは、よい人間関係を築くために欠かせない力です。「きく」にもさまざまな意味がありますが、2学期は「聞こえる」から「聞く」、そして「聴く」へとステップアップしてほしいと思っています。



聞く・・・自然に耳に入ること(英語では hear)。相手の話や質問、意見を受け止めること。

聴く・・・進んで耳を傾けること(英語では listen)。

相手の気持ちや考えを深く理解しようとする(傾聴)。

「聴」の訓読みには、「きく」のほかに「ゆるす」があります。「聴す」は、「心を開いて相手の話を受け入れる」という意味です。子どもたちの「きく力」を伸ばし、豊かな人間関係を築く力の基礎を育てていきたいと考えています。

2学期も、ONE HANASATOの協育にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

下足までの通路が
リニューアル!

アスファルトが敷かれ、水たまりができないようになりました



正面玄関から北校舎へ



南校舎北側から南下足室へ



【速報】全国学力・学習状況調査の結果

4月23日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が返ってきましたので、その概要をお知らせいたします。実施教科は、国語と算数です。なお、この調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一つの側面です。

- 1 対象 6年生
- 2 調査 「学力に関する調査(国語・算数)」と「学習状況に関する調査」
- 3 調査結果の概要
- (1) 学力に関する調査 (正答率：受検者に対する正答した児童の割合)

教科	全体の正答率	結 果
国語	全国平均並み	○漢字や言葉の使い方に関する問題で全国平均を優位に上回る ○話すこと・聞くことの領域で全国平均を上回る ●情報の扱い方に関する問題に課題が見られる ●「国語の勉強が好き」と肯定的に回答する児童が50%以下
算数	全国平均をやや下回る	○概数、異分母の分数の大小の比較に関する問題で全国平均並み ●百分率で表された割合と比較量から規準量を求めることに課題 ●立方体の体積の求め方に関する問題に課題 ●整数、分数、小数が混在した計算問題を解くことに課題 ●データを活用して考える問題に課題

* 2教科とも、記述問題で無答率が高くなっています。

(2) 学習状況に関する調査

生活習慣	○朝食を毎日食べている児童の割合は95%以上。全国平均を優位に上回る ○毎日同じくらいの時間に起きている児童の割合は95%以上 ○毎日同じくらいに寝ていると強い肯定的回答の児童の割合は、35%以上
学習習慣	○平日に1日30分以上読書する児童の割合は、全国平均を上回る ●平日に1日1時間以上学習する児童が50%以下 ●自分で学び方を考え、工夫することに課題
自己肯定感	●自分には、良いところがあると肯定的に回答した児童は全国平均を下回る ●将来の夢や目標をもっていると肯定的に回答した児童は75%以下 ●学校に行くのが楽しいと肯定的に回答した児童は約70% ●地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童が70%未満

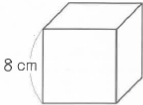
下の問題は、本校の子どもたちの正答率が低かった算数の問題です。1(2)の正解は、「 $8\times8\times8$ 」ですが、誤答の多くは、「 8×8 」でした。2(2)は、「14匹は全体の20%」であることから考える問題です。約1割の子どもたちが無回答でした。正解することも大切ですが、さまざまな考え方から、自分の答えの根拠を説明できるよう、子どもたちの「考える力」を高めていきたいです。

今後、学力・学習状況結果を分析し、本校が取り組むべき方策を「学力向上プラン」としてまとめて、10月中旬頃にお知らせする予定です。

1

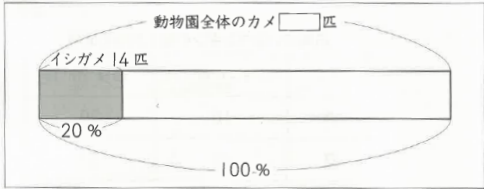
立方体や直方体について考えます。

(1) 1辺が8 cm の立方体の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。
ただし、計算の答えを書く必要はありません。



2

(2) この動物園にはいろいろなカメがいます。そのうちイシガメは14匹^{ひき}います。イシガメの数は動物園全体のカメの数の20%です。



この動物園全体にはカメが何匹いますか。
求める式とその答えを書きましょう。